

平成26年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について【学校版】

津山市立広野小学校

教育目標(めざす児童生徒像)

心豊かに 自ら学び ともに伸びゆく 子どもの育成

- ・考える子
- ・助け合う子
- ・進んで取り組む子

今年度の指導の重点

基礎学力の定着をめざし、自ら考える子どもを育てる。  
 自他ともに人を大切にし、助け合う子どもを育てる。  
 心身ともに健やかな子どもを育てる。

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)

【学力状況調査の結果】

全国

国語Aは県平均に比べやや低く、国語Bは県平均に比べて低い。  
 算数Aは県平均と同程度、算数Bは、県平均に比べて高い。  
 国語Aでは、登場人物の相互関係を捉える問題と、漢字の書き取りに課題があった。  
 国語Bでは、多くの設問で無回答率が高かった。特に後半の3問の無回答率が高い。  
 算数Aでは、四則計算に優れているが、割合を求める問題と立体図形の底面の形を問う問題と四則計算の決まりに関する問題に課題が残った。  
 算数Bでは、適切なグラフを選択する問題や倍数を使って求める問題に優れていた。最後の設問の無回答率が高かった。  
 リズムの規則性の問題:本校82.4(県62.8) 目次や索引の活用の問題:本校29.4(県64.7)  
 2つの詩を比べて書く問題:本校17.6(県46.2)

県(中学校)

社会、算数で県平均を上回ったが、国語、理科で県平均をやや下回った。  
 活用問題では、全教科県平均を大きく上回っている。  
 国語においては、漢字書き取りと文法語句に関する問題の正答率が低かった。  
 算数においては、四則計算の決まりに関して課題が残った。  
 理科においては、「天気の様子」と「物の体積と温度」の正答率が県を大きく下回っている。

【学習状況調査の結果】

読書が好きな児童が県平均より少ない。  
 国語や算数の勉強を大切だとは考えているが、好きだと答えた児童は県平均以下である。  
 回答時間が足りなかったと答えた児童が県平均の2倍以上いた。  
 自尊感情(自分には良いところがある)が低く、何事においても最後までやり通すことが苦手と感じている児童が多い。  
 学校へ行くのが楽しいと感じている児童が県平均の半分以下である。「学校生活で悩みを抱えたら誰にも相談しない」が県平均の2倍以上いる。  
 感想文や説明文を書くことが難しいと感じている児童が県平均より多い。  
 自分の考えを他の人に説明したり書いたりすることが難しいと感じている児童が県平均より多い。  
 家の人と学校での出来事について話をする児童が県平均より少ない。  
 自分には良いところがある:本校29.4(県77.0) 学校へ行くのが楽しい:本校52.9(県86.7)  
 家の人と学校での出来事について話す:本校59.9(県79.5)

成果と課題

算数においては活用問題に成果が見られた。  
 国語において、漢字の書き取りや解答に文章表現を用いる場合に無回答や途中止めのものが多く見られた。  
 後半の問題に無回答が多く見られたことから、問題を解くスピードが遅いことがわかる。  
 自分の考えを人に説明したり、文章に表したりすることが苦手。  
 家族の触れ合いが少ないと感じている。

課題に対応した改善方法

算数において、今後も学習到達度確認テストを使って過学年の問題にも挑戦させる。  
 算数に於いて難問に挑戦させ、算数のおもしろさを味わわせ、活用力を育てる。  
 学び合い学習を推進して、説明力、表現力を育てる。そして、児童同士を繋ぎ人間関係を深めて、自尊感情を高める。  
 ドリルを使った漢字学習から脱却し、思考力を働かせる漢字学習を推進する。  
 PTAや地域に働きかけ、触れ合いの場を増やし心の健康を増進させる。  
 学習の途中に自分の考えを書かせたり、学習の最後にまとめを書かせるなど自分の考えや感想を書く活動を授業に取り入れる。  
 授業においても集中力を高め、てきばきと問題に当たる態度を育成する。  
 放課後学習に、漢字テストを取り入れる。漢字検定の参加者を増やす。

取組の検証方法及び検証時期

学期毎に児童へアンケートを実施して、「自尊感情」と「学校が楽しい」の項目がどのように変化しているかを確認する。  
 来年4月に全学年学力検査およびQU検査の実施。  
 2学期に5年生に対して、たしかめテストの実施。

達成目標(数値目標)

国語Aを県平均以上に、国語Bを県平均並みに高める。  
 算数ABともに全国平均を超える。  
 自分には良いところがあると答える児童を県平均まで高める。  
 学校に行くのが好きという児童を県平均まで高める。